

大切な水

生員中学校

三年

新川

ひなた

私には生活してゐるうえに多くの水を使  
います。使った水は下水道管に流れていま  
ます。下水道管を通った水はどのようにして  
きらいな水へなつていくのか興味をもつたの  
でこの機会に調べてみることにしました。  
私は小学生のときに浄化センターに見学  
に行つたことも覚えております。そのとき、四  
人家族の家庭は一日に約バケツ百杯分の水を  
使つてゐることを聞き、とても驚き今でも印象に  
残つております。中学生になつて改めて調べて  
みると多くのことがわかりました。その内の  
一つは、水をきれいにするには約十三時間か  
かかるといふことです。水をきれいにするこ  
とはとても大変なことです。水の使い方  
を考へ直すことにしました。すると、お風呂  
のときや手を洗うとき水を流しっぱなしにし  
ないこと、蛇口をしっかりと閉めること、洗濯  
はお風呂の残り湯を使うことをなど水を節約で

きることにが意外と多くありました。これから

意識して生活していきたいです。また、下水道のしくみについて学びたいです。

このことがあります。下水道の水は、汚水と雨水の二種類に分けられていて、地面には下水を

流すために二種類の下水道管が埋まっています。す。汚水はこの管を通って下水処理場に運ば

れていき雨水は管を通って川に流されます。また、下水道はほとくさんの人はたらいがある

ことを知りました。一つは、川や海がよみがえることですが、水をきれいにしてから川や海

に流すので、川や海を汚水から守ります。また、まちがきれいになります。汚れた水は下

水道管へ流れるため、汚い水が家の周りにたまらず、いかな臭いやハエなどの発生を防ぎ

町がきれいなになります。その他にも、大雨が降ったときは、下水道管は雨を流してくれ

私たちの家が水がたしにならないように守ってくれます。このように、調べてみると下水道

の仕組みは、私たちが助けられるから

生活していらっしゃることをお知らせしました。

次に、その下水道の正しい使い方についても調べました。下水道は何でも流せるわけではありません。下水道処理場の微生物に害をあたえるものや、下水道管をつまらせる物は流してはいけません。そこで、私たちができることにについて考え、おみごとたぐいさんおつかりしました。まずは、食べ残しをしないこと、生ゴミや食べ残しは燃えるゴミなどに分別すること、洗剤やシャンプーは必要分量だけ使うこと、食器の汚れをふいてから洗うこと、トイレにトイレペーパー以外は流さないことなど他にもたくさんあります。下水道を守るために私たちがやることは実践していきたいと思います。

私は、下水道について調べ、いくつえが世界の水不足の実態を知りました。例えば、水がなく水たまりから水をくんだりある国や汚れている川に洗濯にいかなく、はいけないう国があるということがあります。その中で、私たちが日本

人は蛇口をひねると安全に飲める水がでなく  
るといふ恵まれた環境であることが、本当に  
幸せなことだと感じました。だからこそ、も  
し出来るのなら水不足に悩まれている国々に  
水という資源を分けあげられたいと思  
いました。そのためには、私たちが出来ること  
は節水です。一人一人が節水をしていけば、  
水の大切さを理解する人が増え、地球にも安  
全な水が増えていき水不足で悩まれている国  
の人々のくらしが豊かなものになるのではな

いかと思いました。  
私は今回の作文を通じて、下水道に関する  
知識や水という資源の大切さを知ることが  
できました。私たちの生活が、下水道とい  
う存在に支えられていることに感謝して水を  
大切にしていきたいと思います。